

「生き物救出作戦」を行った感想 (2009年3月11日 港川小学校4年生)

○キャンプキンザーのとなりにはいきものがいっぱいいます。その中には、ルリマダラシオマネキやオカヤドカリ、カノコガイなど、天然記念物もけっこういます。生き物の専門家の鹿谷先生たちから、そのキャンプキンザーのとなりにある西海岸という海にいる生き物の説明を受けました。

市役所の人の話を聞きました。市役所の人たちは、「国号58号があまりにもこんでいて、CO₂が増えるし、ゆたかになるために西海岸を埋めて道路を作ったり、会社などを作る。」と言っていました。

でも、僕は、「道ができると、車も増えてこんだり、CO₂もふえる。」と思います。前によくたち港川小学校の4年生がカーミージーの活動をして、大人の考えが変わりよくたちが観察した、カーミージーの所だけは、橋になることに決まりました。ぼくは、道を作つてほしくありません。でも道を作ることに決まつてしましました。

そして、生き物救出作戦をすることにしました。生き物救出作戦とは、西海岸にいる生き物が生き埋めにならないようにカーミージーに移す作戦です。でも、もともといた生き物達とけんかしたり食べ物が少なくなったりするかもしれません。だけど、埋められるよりは、ましなのでそうするのです。

人間だけの都合で決めないで生き物の気持ちも考えないとなと思いました。市役所の人たちは、「お金が増えて豊かになる。」と言っていました。でも命より大切なものはありません。命は、世の中で一番大切なものです。

○ぼく達4年生は、総合の時間に、カーミージーにすむ生き物や絶滅危惧種の生き物について、調べたり先生に教えてもらったりして、勉強してきました。

また、地球温暖化をふせぐために、ぼく達にできるエコも考えました。マイバックの利用や、ごみを拾つて分別したり、ごみを減らす活動も取り組んでいます。地球温暖化を防ぐためにみながマイバックを利用したりCO₂を防ぐためにがんばっています。

自然を破壊してしまうと、もとに戻すのが大変になります。だから、地球環境を守つていいくほうがいいと思います。

カーミージーは「港川の宝」とぼく達は、そこにすむ生き物を調べて、命は大切なんだと知りました。また、生き物が生きていくために、環境を守ることも大切だと知りました。だから、浦添の西海岸の生き物を救出して、カーミージーに保護しました。

ぼくは、カニや二枚貝、巻き貝を救出しました。カニは、卵を持っていて、鹿谷先生に聞いたたら、百匹か二百匹、もしかしたらもっと生まれるかもしれないと聞きました。ぼくが助けた赤ちゃんがいっぱいカーミージーに増えたらうれしいです。

浦添市西海岸の埋め立て工事は決まつてしまつて、ぼく達は、少しの生き物しか助けてあげられなかつたけど、港川小学校の先生たちと4年生は、自分たちにできることをあきらめないでがんばつたと思います。

○今日、西洲に行って、ぼくは、砂浜でした。かいりさんと一緒にヤドカリを見つけました。かいりさんと一緒にムラサキオカヤドカリを見つけました。とってもうれしかったです。もっと助けたかったけど、時間がなかったです。そして、カーミージーに着いたとき、やさしく帰してあげました。小さい命をみんなで守れたので、自分の心も守れた気がします。ムラサキオカヤドカリを見つけたとき、近くの大達に「ヒーロー。」と言われました。ちょっと恥ずかしかったです。自分でもいっぱいとれたなー。と思いました。ムラサキオカヤドカリは、3匹見つけました。けっこう大物もいました。かいりさんのおかげで、さがしつたも消えました。

ぼくは、テレビ局にインタビューされて初めてだったので、何を言えばいいかわからなくて、がんばっていました。もちろんオカヤドカリの苦労してがんばりました。

カーミージーに行ったとき、カメが倒れていたので、かわいそうでした。いっぱい救出したのでよかったです。

○「ザバーン！スー…、ザバーン！スー…。」

今日は、いよいよ待ちに待った生き物救出作戦です。そして、みんながそろって、先生たちの話を聞きながら、周りを見ていると、

「うわっ！テレビ局の取材の人や、鹿谷先生達や、市役所の人たちや、お母さん達もいっぱいいる…。」と考えているうちに、少し喜びがでてきました。なぜかというと、もうすぐ命が助けられるからです。

そして、西海岸に入りました。でも、みわたすかぎり波の音しか聞こえません。でも、砂を少しこすったら、貝がたくさんありました。でも、もっといやなのが、先生は前、ナマコの話をあまりしなかつたので「よかったです、西海岸には、ナマコが少ししかいないんだなあ。」と思ったけど、岩の底を見ると、ナマコがうじゅうじゅ。そして、急にらんさんが、

「うわっ！かんたろう来てー。こっちにナマコがいっぱいいるよっ！」

と言いました。でもぼくは、こつそりにげだしました。ぼくは、ナマコが大きくらいなので、にげちゃいました。

そして、いよいよバスに乗って、カーミージーに行きました。さすが、カーミージー。ごみはいっぱい、貝もいっぱいあるし。でも、そんなカーミージーに、海ガメかわからぬけどカメの死がいがありました。そして、かんじんな、生き物が無事帰せたのでうれしかったです。ぼくは、この生き物が、生き残るのを願います。

○3月11日水曜日に、救出作戦をして思ったことは、もっと生き物がいるんだなーです。もっと生き物を助けたかったけど、時間が決まっていたので、全部の生き物は助けられなかつたです。

西海岸の海は、とってもきれいな海でした。だから、生き物も西海岸が好きで、ここがいいって言っていると思うけど、大人の勝手で海が埋め立てられるので引っ越ししなくちゃいけなくなつてかわいそうでした。

もっと、調べる時間や、知らせる時間があれば、生き物はもっと幸せにくらせていたのかなーと思うと心がいたいです。だから、生き物を引っ越ししただけじゃなくて、その後も観察ができる、生き物も生きていることがわかってその生き物の子どもも生まれいたらとってもうれしいと思います。

だから、生き物も埋め立てに負けないでほしいです。なぜかというとカーミージーは、橋がかかるけど橋を立てるのにも工事が入るので生き物には、それをのりこえてほしいです。

としきさんが見つけたカニは卵をもっていたので、そのカニがカーミージーの環境に合えばカニが生まれてくると思います。

先生が、「西海岸に来るのは、あなた達で最後かもしれません。」と言われたときは、とってもかなしくなりました。沖縄から埋め立てがなくなるといいです。

○私は、3月10日水曜日に、軍用地うらの西海岸に行きました。西海岸には、オカヤドカリやナマコといろいろな種類がいますが、西海岸を埋めてしまうという計画があります。私は、生き物救出作戦をやって、オカヤドカリとカニといろいろな生き物を助けたいと最初に思いました。

西海岸に行くとナキオカヤドカリや、カニいろいろな生き物がいて、「こんなにいっぱいの生き物を全部助けてあげられるのか。」と思いました。でも、生き物を一匹でもたくさん助けたかったので、「むりじゃなくてもいつしょくけん命生き物を助けようとすると思つっていました。」

私は西海岸に行って、すごく感動しました。こんなにたくさんの生き物がいるのに、どうして埋め立てようと考えているのか分からないので、すごく不思議に思いました。

でも、カーミージー側が埋め立てられなくて、西海岸の生き物を、カーミージーに移せてよかったです。

生き物救出作戦では、一匹でも多く助けたいと思ったことが、本当になったような気がして、嬉しく思つてよかったです。

○私達は、バスに乗つて西海岸に生き物を救出に行きました。私は、今生き物達は自分の好きなことをやつているけど、いきなり砂をかけられたりして、大切な命をなくしたくないです。

生き物救出が始まつたら、もえさんとゆうかさんと一緒に生き物を取り始めました。

私が砂浜でオカヤドカリを取つていたら、ゆうかさんともえさんが

「岩の方の生き物も取ろうよ。」

と言ったので、岩の方に行ってみたら、カノコガイがいっぱいありました。私は西海岸にこんなに生き物がいるんだなあと思いました。砂浜には、オカヤドカリとかがいて、水の中にも、オカヤドカリがいました。本当はオカヤドカリは水の中にすんでいる生き物だったそうです。私は今まで、オカヤドカリは砂浜にいる生き物なのかなあと思っていました。

ウミガメのこうらがあつたので、今日はウミガメが来たのかなと思いました。西海岸は、カーミージーとちがつてカノコガイやオカヤドカリが多いです。

そして、生き物を救出し終わつたら、カーミージーにバスで行きました。そして、自分で取つた生き物を帰します。

生き物を帰している時に、私は、カーミージーもいつか埋め立てられたら、カーミージーにひなんしてきた生き物や、最初からカーミージーにいる生き物はどうなるんだろうと思っていました。

人間の都合だけで自然や生き物を埋めるのは、いやです。自然は、1回埋めたらもうもどりません。生き物は、人間といつしょで大切な命を持っています。人間より少し小さいといって、大きな人間は生き物を埋めてはいけないです。

私も最初は、道路を作るということが決つたとき、やつたあと思っていました。だけど、総合の勉強を始めてみたら、小さい生き物でも、みんな大切な命を持っているんだなあと思いました。

私も自分がもつてゐる命も大切にしたいしちがう人や生き物も大切にしたいです。

○今日、ぼくは、4校時に給食を食べて、早く西洲に行って、生き物を先生がとつていよいよ先生がいつたので、麻夕先生が岩をどかしたらカニとかがいるつていつたので、岩をどかしてみると、でかいカニとか小さいカニをとつて、早くカーミージーに早く帰したくて、かずきさんとりゅうさんといつしょにやつて、あとたくまさんとしんさんとたかやさんに、さがしてたら、カザエがあつたので、ぼくはサザエもいるんだなと思いました。ナマコもいるし、コバンザメもいたのでぼくもみたかったなーと思いました。コバンザメは、水族館でしか見たことしかないので、ぼくは久しぶりに見たかつたけどしようがないなと思いました。でも、たくさんカニをたくさん見たしとつたりしたからそれに、最初の所はナマコがたくさんいて、糸をはきそうで心配です。でも、おとなしいからはかなかつたのです。バスが来たのは、2時30分に行ってから、くつを洗つてそしてバスに乗つて2時50分についてそして、ついにカーミージーに着きました。

バスにてて、最初に逃がしたのは4組と3組で、ぼくがにがしたのはオカヤドカリを逃がして、友達のも逃がして、ぼくが超びっくりしたのはカメが死んでることで、超びっくりしました。

○今日は生き物救出作戦。西洲に行く時、ちょっとドキドキしました。西洲につくと、OTVのカメラマンや、役所の人そして、鹿谷麻夕先生、法一先生、お母さん方が来ていま

した。西洲には、たくさんのかやドカリや、貝やカニ、そしてナマコたくさんの生き物が見られました。私は、水の中を探しました。水の中は、ナマコでいっぱい、歩くと、たまに、魚がぴゅんぴゅん動きました。砂の所をほつたら、ホシムシというミミズみたいなものがでてきました。貝は横にけずるようにしたら、二枚貝がたくさんてきて、岩をどかすと、カニや貝がいました。

そして、カーミージーについてから、生き物をそれぞれちがう場所におきました。ホシムシは、砂の上に置くと、自分で穴を掘って中に入っていました。ナマコを置くとき、がんばってねとか、元気でねとか、死なないでねとそう思いながら置いていました。私はとてもいやでした。生き物達はね、自分のすみやすくて、自分の好きなところを選んでいます。そして、命は道路より大切な、一番の宝物、それを失ってまで、道路を作る意味はないと絶対に思います。

○さあ、みなさんこれから、生き物救出作戦を始めます。では、みなさんこれから生き物を取りに行きたいと思います。では、4組さんから、次に3組さん、次に2組さん、次に1組さんとよばれ、4組から海に入っています、どんどんみんながはいっていきます。それでは、生き物を取りに行ってください。

私は、生き物をとりに、りらさんとしゅうだいさんとそういういちろうさんの4人で、生き物を探しに行きました。

西洲の海には、たくさんの魚やカニ、それにヤドカリ、ナマコがたくさんすんでいました。私はこんなに、いっぱいの生き物がいる西洲の海を、どうして埋め立てるのかなと、ちょっと疑問になりました。

そして、私はりらさんといっしょにヤドカリや、ナメクジみたいな生き物をたくさん海から拾いました。

そして、先生が、ピー集合と言ったので、私とりらさんは、歩きながら、海の中を見ていましたが、集合の場所へ行きました。そして、バスに乗って10分ぐらいの所にカーミージーがありました。そこで西洲の海からとってきたヤドカリやナメクジみたいな生き物をそっと、カーミージーの海に置いていました。そして、30分後ぐらいに、集合といったのでみんなで集まりました。そして、今日の感想や、お手伝いをしにきた人たちにお礼をみんなで言って、それから5分くらい歩いて、バスに乗りました。

○私は、3月11日に、港川の宝西海岸とカーミージーに行ってきました。私は、2グループのりなさんとしゅうだいさんとそういういちろうさんといっしょにゆっくりと歩きながら、西海岸を歩き、途中でお父さんに会いました。

お父さんは、石とか岩を避けながら、いろんな生き物を拾いました。例えば大きなカニや、ヤドカリをいれたりしていました。私はとってもびっくりしました。なぜかというと、本当にたくさん人一倍くらいとっていたからです。

私はお父さんに「すごい。」と言いました。そして、お父さんは奥に行ってたくさんとつて来ました。

そして私は同じグループの人と行動し、ヤドカリをたくさんつかまえました。それとナマコは、100匹ぐらい探したらいるかもしれないと思いました。友達のものなみさんは、ナマコをビニール袋にたくさん入れていたのでびっくりしておどろきました。ほかの人もいろいろいろいろ生き物をたくさんつかまえていました。

私は、生き物をとっている時に、本当に「命」の重みを感じられました。こんなに生き物がすんでいる所を埋め立てられてしまうのでそう思うと生き物がかわいそうだし、本当に今のまんまでいいのかなーと思います。

私は、あまり生き物を多くとれなかつたけど、私がつかまえてカーミージーに、放してあげた生き物、みんなとお父さんがつかまえて放してあげた生き物が、今までより、もっとたくさん生きてほしいなと思います。

○3月10日に、鹿谷法一先生と、麻夕先生が「生き物の移動にあたって」のお話を聞かせに来てくれました。浦添市西海岸の埋め立て工事が始まるので、生き埋めにされる生き物達を、埋め立てられない海岸まで、移動させてあげるというお話でした。埋め立て予定の浜辺には、天然記念物のオカヤドカリや、他の生き物のナマコや、ソデカラッパや、ケブカガニや、ニセクロナマコや、オオイカリナマコや、ウニやイソハマグリや、キイロダカラガイや、ゴカイや、いろいろな生き物の命があるときき、3月11日には、いよいよ大切な海の生き物達の命を助けるために埋め立てされる場所に立ち、生き物を探しました。

いろいろな生き物にあうことはできませんでしたが、たくさんのナマコを保護することができました。私達は保護した生き物達を、カーミージーまで、移動してあげることができました。私は、どんなに小さな生き物でも、命は大切にしたいなと思いました。

○ぼく達は、西洲の西海岸という海で生き物達を救助しに行った。だが、全部の生き物は救助できないけれど一匹でも多く救いたかった。

そして、ぼくたちが救助した生き物は、ハゼ、イソハマグリ、カニいろいろな救助したからよかったです。だけど、この救助した生き物は、カーミージーで生きられるかが心配。それで、オカヤドカリとか、ムラサキオカヤドカリもいっぱい見つけて、西洲からカーミージーまで持つていって逃がしてあげました。そして、オカヤドカリは天然記念物であり、少ないオカヤドカリとかムラサキオカヤドカリは、もう絶滅危惧種といわれていました。そして、かわいそうにカーミージーに海カメの死体があつて本当にかわいそうだなあと思いました。

最初は道路を作つても二酸化炭素がでないからぼくは、どっちもどっちだと思いました。ぼくは、西洲の生き物はぜつたいに生き残つてほしいと思いました。そして、生き物も人と同じ命を持っているから、道路は作らなくていい役所の人は考えているかがぼく達の疑問です。

○今日は、西海岸の生き物をカーミージーにうつす、「生き物救出作戦」をやりました。生き物はたくさん見つけたけど、少しだけ弱っている生き物もいたので私は、「西海岸から、カーミージーに着くまで、時間がかかるから、生き物は大丈夫かなあ。」と思いました。死んだら大変なので、集合の時は急いで集合するように意識しておきました。

カーミージーに着いた時はナマコが少しだけ弱っていて、私は「早く海に移してあげなきや。」と思って、さっそく海に放してあげました。すると、田島先生が「海カメがあそこで死んでいるから見てきたら。」と言うので、見えてくると、まだ小さい子どもでした。私は、「まだ、こんなに小さいのに、どうして死んじやったんだろう。この場所は、埋め立てないけど、生き物が死ぬなら、意味ないよ。」と思いました。だから、カーミージーに放してあげた生き物は、しあわせに生きてほしいです。

○今日、西海岸で、いろいろな生き物を捕まえて、カーミージーに移して、助けてあげる「生き物救出作戦」を実行しました。

私は、砂浜と岩担当でした。岩をひっくりかえしてみると、ずらあ、貝がいっぱいありました。私はそれをいっぱいゆっくりと取って袋の中にいれました。大人の人がいて、「何かいました？」

と聞くと、

「はい、貝だよ。」

と言って、ちかのさんにわたしました。その貝はとても大きかったです。

私は、いろいろな所を歩き回っていろいろな所を一生懸命探しました。すると、かいりさんがいて、

「何してるの？」

と聞くと、

「オカヤドカリをつかまえているんだよ。」

と言って。オカヤドカリの入っている箱を見せてくれました。私は、

「どこにいるの？」

と聞くと、教えてくれました。さっそく探すといっぱいいました。

集合の時間だったので、帰ると、いろいろな生き物がいて、ケイタイでとりました。私達は、バスに乗ってカーミージーに行きました。放すとき私は、「がんばって生きてくれよ。」と思いましたが、ながら逃がしました。本当に本当にがんばって生きてほしいです。

○僕は、西海岸から、カーミージーに移すのを、生き物の命を助けたいと思いました。そして、西海岸で、ぼくは、つばささんといっしょに岩を探しました。まず、ぼくは貝を見つけました。そして息を吹き込んだらヤドカリが出てこなかつたのでがっかりしました。でも、空き部屋につかえるから、入れ物にいれました。また見つけて今度は、ヤドカリがいました。やったーと思いました。今度は、ヤドカリが入ってなかつた貝がありました。これも使えるから入れ物の中に入れました。

ちょっと、石とかをひっくり返したら、今度はタカラガイがでたので、びっくりしました。足下に黒物体が見えたので、近くでみたらナマコだったので、びっくりしました。だから、つばささんに取ってもらいました。ぼくは、本当はナマコがきらいなので、取れませんでした。でも、他の生き物はとりました。

次に、サザエを見つけました。サザエはなんでサザエというのかなと思いました。岩の上を歩いたら、サザエのふたがありました。これは、サザエのふたがないときこれがあれば、ふたになるから、これも入れ物の中に入れました。

今度は、手や足がピンク色のヤドカリがいました。これは、めずらしいのかなと思いました。次は、二枚貝を見つけました。これもかわいそうなので、入れ物に入れました。ぼくは、なんで、西海岸にこんなに生き物がいっぱいいるのに、埋め立てするのかな、道路を作るのに二酸化炭素が逆に出るのに、なんで作るのかなと思いました。

○私は、3月11日に、西洲の西海岸に「生き物救出作戦」をしに行きました。3校時が終わってすぐ給食を食べました。そして、観光バスに乗りました。

西海岸に着くと、鹿谷法一先生、麻夕先生に生き物の取り方を教えてもらいました。

私が最初に捕まえたのは、カノコガイです。一番いっぱいいたんじゃないかと思うぐらいいっぱいいました。

次に私が見つけたのは、天然記念物のオカヤドカリです。オカヤドカリは、砂浜の所にいて、小さい貝をひっくりかえしたらいっぱいいました。

「海の中のヤドカリは、一匹見つけると、その周りの貝は全部海の中のヤドカリなんだよ。」

と麻夕先生が言っていたので、貝の中を見てみると、全部の貝にヤドカリがいまいした。カーミージーに行くときにはたくさんいまいした。

カーミージーに着くと、法一先生と麻夕先生のお話を聞きました。

「生き物はちゃんと、元いた場所に帰してあげて下さい。」

と言っていました。だから、海の中のヤドカリは、海の中の岩場に帰しました。カニも海の中に帰しました。オカヤドカリは、大人が、私達がいったカーミージーよりずっと奥の所に帰しに行きました。

いっぱい命を救ったけど、まだ西海岸にはたくさんの命があるので、その残った命をまた救いに行きたいです。

カーミージーに移した生き物が、カーミージーで、長生きしてくれたらうれしいです。

○今日、1, 2, 3校時は授業でした。3校時が終わったら、すぐに、給食を食べて、トイレに行って、12時10分に運動場に集合しました。12時30分には、バスに乗って西洲まで行きました。西洲に着いたら、集合してから、砂浜に生き物を取りに行きました。最初は、ケブカガニがいて、つかまえようとしたら、気付かれて、にがしてしまいました。ぼくは、そこから、生き物を探していました。

大きい魚がいて、ぼくはそれを見てびっくりして、しんちょうに取りました。動いてにゆるにゆるして取りにくかったです。

魚をこうさんのクーラーボックスにいれました。そして、石をひっくり返したら、でつかいカニがいました。それ見たぼく達は、びっくりしてからあわててしまいました。でも、落ち着いてゆっくりと取りました。また、大きい石をゆっくりとかしたら、ぼくが最初に見たケブカガニとはちょっと大きかったです。小さい魚を探していて、石をとかすと、小さい魚がいました。小さい石とか大きい石をとかしたらサザエとかしじみがありました。最後にでつかい石をとかしたら、エビが出てきて、エビをずーっと見てみたら、小さかったです。

○私は今日西海岸に行ってナマコや貝がらとかをとりました。西海岸に着いてからとてもドキドキしていました。

始めに、法一先生と麻夕先生から話を聞きました。そして、階段をおりてグループに分かれました。

最初は取れなかったから、しおりさんにとってもらいました。貝がらは男の人が探していたので、一緒にさがしてつかまえたものをもらって箱に入れました。箱に入れてみたら生き物が箱にくつっていたので、私はきたないと言ってしまいました。

鉄先生といっしょに貝をとっているときに、琉球新報の人が写しにきました。琉球新報の人が

「写真とるから、とった貝見せて。」

と言ったので、見せたら写真をとっていました。

先生が集合といったので集まったときに生き物のナマコを置いてトイレにいきました。バスにちょっと乗ってからカーミージーに行き、生き物を放しました。そして、ナマコを放して、貝も放してナマコがいたのでさわってからカメが死んでいるよとしおりさんが言つたので、カメの所に行きました。

色々な生き物をさわって、集合といわれたので行って帰りました。

生き物がちゃんと生きているといいな。

○3月11日、西海岸にいる生き物をとてカーミージーに移しました。

始めに、バスに乗って西海岸に行きました。バスに乗っているときにちょっとドキドキしながら乗りました。

西海岸について、1回集合しました。周りを見ると岸や海が広がっていました。それで、周りを見ながら「こんなに広い場所で、生き物がいっぱいいるんだからいっぱいとつてあげよう。」と思いました。

いよいよ活動開始の合図がでたので、まずは、砂浜の方に行きました。一生懸命探したけど、なかなかオカヤドカリや生き物が見つからなかつたので、次は、岩の方に行きました。岩には、たくさん貝がついていたのでとろうとしてもなかなかそれなかつたので、

次は、海の方に行きました。始めは、なかなか見つからなかつたけど、どんどん生き物が見つかりていきました。ぼくが、海の中で見つけたのは、ナマコとからの茶色い貝です。

次は、ちょっと奥のでかい岩の方に行きました。周りを見たら、オカヤドカリが一匹歩いていたのでつかまえました。すると、先生が「時間があと少ししかないから戻りながら探してね。」と言ったので、戻りながらさがしました。そしたら、水が吹き出ている所にカノコガイを見つけたので、自分の容器に入れました。

それから、バスに乗ってカーミージーに行きました。カーミージーに行ってそれぞれの場所に生き物を放してあげました。

この西海岸の生き物救出作戦をして、命が一番大切なこと、命は何にでもかえられないとわかりました。これからは、生き物をもっと大切にしていきたいです。

○今日はいよいよ生き物の命を救う、生き物救出作戦をする日です。ぼく達4年3組は、日記に生き物救出作戦の心構えをしたので、ばっちりだと思います。

そして、いよいよ4校時が始まりました。11時45分に急いで食べて、そうじはしないで、ちゃんとじゅんびして学校を出るじゅんびをしました。そして、運動場に行ってバスに乗って学校を出発しました。そして、僕はバスの中で、いつしょに座っていた友達と遊んで、着くのを待っていました。

ぼく達は、生き物救出作戦をする所に着きました。そこで、手伝ってくれる人達にあいさつをして、鹿谷先生達の話をよく聞いて、いよいよ生き物救出作戦が始まりました。

最初にぼくは、オカヤドカリを見つけました。手で持っていると、オカヤドカリがからからでてしまつて先生にどうするんですかと聞いたら、もうバケツに入れてといて下さいと言つたので、入れておきました。

それから、二枚貝を3まいくらい見つけて、カニも4匹見つけました。1番目に見つけたカニがとってもでかかったです。それから、貝を20匹ぐらい見つけました。こんなきれいな海を埋めるのはいやだなあと思いました。

○3月11日の午後、ぼくたちは西海岸にいる生き物をカーミージーに移動させる、生き物救出作戦をしました。ぼく達が生き物救出作戦をしようと思った理由は、西海岸からカーミージーまで、58号線の車のじゅうたいを防ぐための道路を作るので、西海岸の生き物が生き埋めにされるのはかわいそうなので、西海岸からカーミージーに生き物たちを移動しました。

なぜカーミージーに移動させたのかというと、ぼくたち港川小学校がカーミージーの生き物を調べ、全国に発信して、全国の人にカーミージーのことを知つてもらい、工事の方が、カーミージーのところだけ橋にしてくれるそうなので、西海岸からカーミージーに生き物達を移動させました。

ぼくは、生き物を西海岸で拾っている時、「こんなにたくさんの生き物が生き埋めされるのは、とてもかわいそうだなあ。」と思いました。それに、生き物たちは工事されるこ

とを知らないから、いきなり生き埋めされるなんて、ぼくにはこわくてたえきれないと思います。

西海岸で生き物達を拾ってバスに乗っているとき、ぼくは、「生き物達大丈夫かな。」と思いました。それに、カーミージーに生き物を放すとき、生き残ってとか、がんばって生きてねとかいろんな気持ちになりました。

ぼくは、生き物救出作戦をして、ぼくたちは生き物達にとっていいことをしたんだなと思いました。

○ブーンとバスが走っている音が聞こえます。私達は、西洲かが埋め立てると聞いて、みんなが生き物達を助けたいと言ったので「先生達は協力します。」と言って先生達が話し合いをして決めて西洲に行くことになりました。それが3月11日今日でした。

西洲に着きました。まず始めに智代先生と鹿谷法一先生と麻夕先生が私達に話をして、4組から順に歩いていきました。

海に着きました。私のグループは、かんたろうさん、けいたさん、もなみさん、私の4人グループです。最初は、砂浜で貝を探したいと思ったけど、私はナマコが好きなので、もなみさんに

「海に行こう。」

と言いました。すると、もなみさんは、

「うん、いいよ。」

と言ってくれました。そして、海の中に入ると一匹の魚が死んでいました。口からは血が出て、かわいそうでした。でも、気持ちを切り替えて「あの魚はえさになるから大丈夫。」と思いました。

ふたたびナマコを救出することにしました。1匹目は、小さいぶんれつしたナマコでした。2匹目、3匹目につれ、どんどん大きいナマコになってきています。とうとう最後は、とっても大きいナマコを捕まえることができました。私達はイボナマコをつかまえていました。でも、イボナマコは、他のナマコと違って、かたかったけど最後のナマコは、プニプニして気持ちよかったです。

そしてついに、ピーとふえになりました。砂浜を歩いていると、お母さん達が

「うわあ、ナマコだー。いっぱいだね。」

と言いました。

各クラスのクーラーボックスの中に生き物を入れてカーミージーに運びました。カーミージーに着きました。私達は、海からナマコをとったので、また、海に戻しました。私は、「長生きしてね。」という思いでにがしました。

今日の生き物救出作戦は、大成功だと思います。

○今日は、西海岸に行く日です。今日は楽しみの気持ちがいっぱい、はりきって学校に行きました。

学校に着いて、ちょうど50分頃、とても大切な体育着を忘れて、とてもショックでした。

先生がやってきて、先生が持ってきた服を借りることになって、これからどうするんだろうと思いました。そう思つていいくうちに、1時間目、2時間目、3時間目がすぎて、うとうと給食にまでなってしまいました。

給食も終わって、廊下にならんでいるともう給食も終わったのかあとか、時間って早いなあとも思いました。

バスに乗つて、しおりとりらと座りました。最初はぎゅうぎゅうだったからちょっと暑かったんだけど、どんどんなれていきました。

西海岸にやつと着いて、ちょっとおもしろそうという気持ちは少しありました。

生き物を取る時間、ナマコがよくとれるところに行ってナマコを探そうとしたら、ほとんどみんなとっちゃて、あまりいませんでした。ナマコを見つけてとろうとしたら、すごくごつごつして、表面はぬめぬめして、ナマコをさわるのがこわくなつて、スコップでとろうとしてもかわいそつなので、勇気を振り絞つてやつととりました。すごくうれしくて、生き物をとる時間が10分もかかりました。次は岩場の近くに行ってみようと思って、岩場に行くと、みんなのようないっぱいとりたいのになあと思いました。岩場を歩いていると、ナマコがいて、すごくよかつたと思いました。岩場の近くに落ちていた貝だと思って取つてみると、カニのこうらでとてもうれしかつたです。とても楽しい一日でした。

○今日、西海岸の生き物をカーミージーにうつしました。「西海岸ってどんな海かな。」と思いました。着いたら、「カーミージーにてるなあー。」と思いました。

生き物を探していると、ナマコがたくさんいました。オオイカリナマコはいなかつたです。カニもいたし、ヤドカリもいました。カニは、岩をひっくり返すといっぱいいました。だけど逃げ足が速いので、いっぱいはつかめませんでした。

ヤドカリは、おばさんが

「ここにいっぴいいるよー。」

と教えてくれました。5ひきくらいいました。

次に浅いところでなつみさんに会つて、ヤドカリを見せてもらいました。

「この種類は何？」

と聞いたら、

「オカヤドカリだよ。」

と教えてくれました。

「えつ、どこにいたの？」

と聞くと、その場所に案内してくれました。そしたら2匹みつかりました。

移動の時間になると、鹿谷先生が、何か箱をもつていたので、何かなーと見に行つたら、ビー玉みたいな貝がいました。その貝の名前は、カノコガイというそうです。とてもきれいでした。

バスでカーミージーに移動すると、ナマコやヤドカリやカニを移しました。「長生きしてね。」と、心の中で言いました。

○今日、生き物救出作戦をやって思ったことは、西海岸にはカーミージーとちがう生き物がいて、環境もちがうので、カーミージーでも生きていけるのかなと思いました。カーミージーではニセクロナマコが多かったですけど、西海岸では、体がぶつぶつしたナマコが多かったです。カーミージーについて、海を見てみたら、生き物があんまりいませんでした。カーミージーにはなした生き物は、生きのびてほしいです。

○西海岸の生き物を救いに行きました。カメラマンとかたくさんいて緊張しました。ぼくは、岩場の生き物をとりました。岩場の生き物は貝だけでした。とれない貝もいました。大きい貝も小さい貝もいました。

おじさんがカニを2匹つかまえてくれました。そして、貝を3組の岩場の生き物の所にいれました。そして、バスに乗って10分くらいたってカーミージーに着きました。そして、3組岩場っていうところから、貝を入れたふくろをとって、貝をにぎしました。カニは、浅い海の所ではなしたら、すばやく穴を掘ってかくれていました。カニは頭がいいんだなと思いました。すこし歩くと青いナマコがいました。その青いナマコのとなりになにかいるかなあと思って、1回つかまえて、近くの人に聞いてみると、魚って言っていました。その魚は細かったので、こんな細い魚がいるんだなと思いました。楽しかったです。

○今日、4校時に西海岸に行きました。そして、西海岸は、4・5校時にいきました。ナマコがいっぱいいました。岩をどけると、カニがてくてくいっぱい出てきました。カニがいっぱいだったので、びっくりしました。

でっかいカニもいて、とってもでかくて、はざまれたら痛いと思うぐらいでこわかったです。

西海岸には、ヤドカリもいて、貝も岩にとってもくっついていました。ナマコに白い糸をだしてそのままちょっと時間がたつと、痛くなり、その白い糸をとると、痛くて、時間がたつと、痛くなくなりました。

どんどん岩をひっくり返していくと、二枚貝が岩にくっついていました。エビと魚もいて、エビもいました。そしたら、タコもいて、捕まえようしたら、すみをだしてとっても速く泳いでにげられました。タコをつかまえられなくてとってもざんねんだし、くやしかったです。

カキの貝があり、小さいのと、大きい貝がありました。小さいカニが2～8匹いたのでとってもびっくりして、大きいのにはざまれたので、痛くて、ヤドカリがとってもいました。ヤドカリは、ひっこんだりしたら、暖かい息をかけたらでました。出たりしたのでかわいかつたです。

生き物をつかまえたら、集合をして、カーミージーに行きました。15分くらいかかりて、カーミージーににがしてあげました。魚が弱っていたのですぐ返しました。カニもよわっていたのですぐ返し時間がたつたら、元気に魚は泳いでいって、カニは、横に歩いていて元気に歩いていったので、とっても、よかったです。

○ぼくは、今日西洲へ行きました。西洲はいろいろな生き物がいました。ナマコやオカヤドカリやエビがいて、いろいろ生き物がいたので、びっくりしました。

西洲には、いろいろな大きさのカニがいました。一番大きなカニはとても凶暴でした。

あと、岩の下にはナマコがいたので引っぱってみても、ぜんぜんとれませんでした。とっても大きかったです。

岩の下にはたくさんの生き物がかくれていました。西洲にはたくさんカノコガイがいました。とってもきれいな色をしていました。

ぼくがつかまえるのに苦労した生き物はエビです。とってもすばしっこかったので、ぼくは、赤ちゃんのエビだと思いました。

生き物をつかまえてカーミージーに行って生き物を放しに行きました。砂浜まで行くと、海カメが死んでいました。とてもかわいそうでした。

ぼくは、生き物達に一匹ずつ、一生懸命「生きるんだぞー。」と思いを込めました。ぼくは、最後にこう思いました。心は何にでもかえられないということです。

ぼくは、つかまえてにがした生き物たちに何十年何百年と長生きしてほしいです。

○今日、西海岸で、「生き物救出作戦」をしました。私は、西海岸を初めて見たとき、「たくさんの草や岩があるし、砂浜がきれいだな。」と思いました。

西海岸は、カーミージーに比べて、岩場も少なかったし、たくさんの草があって、砂浜がきれいでした。

私は6グループで、友達といっしょに行動しました。最初に、岩場をさがしました。生き物は、思ったより見つけるのが大変でした。私は、「生き物は、敵に見つからないよう、一生けんめい生きているんだなあ。」と思いました。

昨日、鹿谷先生が、

「生き物は、岩の下の所にかくれていたりするんだよ。」

と言っていたので、私は、岩をひっくり返すと、たくさんの巻き貝が、20匹ぐらいいたので、とてもびっくりしました。「こんなに生き物がいるんだ。」

次に、砂浜をさがしました。砂浜は、岩場の時みたいに、かんたんには、見つかりませんでした。

私が、

「あそこのしげみの方に行こう。」

と言って行きました。そこには、他の組の人がさがしていて、どんな生き物がいるか聞くと、葉っぱの根元にいると言っていたのでさがすと、そこには「オカヤドカリ」がいた

ので、うれしかったです。そして、カーミージーに行って生き物を返しました。「これからもがんばれ。」

最後に、今日の生き物救出作戦をして、思ったことは、命は何にもかえられない大切な物だということです。

○今日、生き物救出作戦をやってから生き物の命の重さを知りました。それで、いろいろな海の生き物をつかまえました。ナマコもつかまえたし、魚もつかまえたし、カニもいました。（ケブカガニ、もいました。）とにかく、いろいろな魚やらカニやらナマコがいました。話によると、サメもいたそうです。カメもいました。でもそのカメは死んでいました。悲しい話ですね。かわいそうです。まだ長生きできそうなカメでした。また行きたいです。

西海岸にもいろいろな魚やカニやナマコがいました。また、西海岸やらカーミージーに行きます。でも、子どもだけで行ったらだめだから、大人も一緒に行きます。できたら、いとことか親戚と行きたいです。ヤドカリもいました。オカヤドカリは、天然記念物をさがしました。また、行きたいです。楽しかったです。おじいちゃんとおばあちゃんと行きたいです。昔からあるよと言ったらおどろくと思います。

○今日、4校時の12時から、シーサー号に乗って、西洲に行って、1時～3時まで、西洲の生き物を保護して、またバスに乗ってカーミージーに行きました。

私がつかまえたのは、ハカボウキガイとイソスズキという、草の仲間と、貝やヤドカリをつかまえました。いったん、カーミージーで生き物の放し方や放す注意について、説明を聞きました。私は、ナマコはつかまえたけど、苦手なので、他の人にとつてもらいました。その他にも、ヤドカリや、貝や、つかまえたのをあっちこっちに放しました。

私は、生き物を放すときに、「西洲と環境がちがうから、大丈夫かな。」ってちょっと不安になったけど、やっぱり大丈夫だ、長生きすると決意して、そっとカニやヤドカリを海の中や、岩のそばにおきました。私はお家が近いので、たまには、様子を見に行こうと思いました。みんなと協力できてよかったです。楽しかったです。

生き物が長生きしますように…。

○今日、西海岸に行きました。貝がいっぱいカニが穴の中にいて救おうとしたらにげられていきました。海辺に行ったらナマコがいました。こころさんがいっぱいナマコをふくろに入れていたので入れました。

私の入れ物には車エビやカニや貝がいました。私はナマコをいれようとしたら入らなかつたので、こころさんのに入れました。

次にカーミージーに行って西海岸にいた生き物をカーミージーに行って生き物をはなしました。こころさんのふくろにいっぱいナマコがいたので、私とゆきのさんと青さんと沙

南さんでにがしました。ナマコでニセクロナマコみたいなものがいて、長くてそれはこころさんがにがして、私は小さいのを逃がしました。ゆきのさんが「こわい。」と言っていました。けど最後にはさわれています。

まだ西海岸にいる生き物がいてかわいそうでした。でも大人の人たちがやると言っていたのでよかったです。

○今日は待ちに待った生き物救出作戦の日です。今日は、OTVテレビ局の方と、琉球新報の方と、鹿谷法一先生と、麻夕先生と、お母さん方と、自治会長の人たちが来ていました。私は、班の責任者をすることになりました。

最初は、西洲の西海岸に行って、生き物を取りにいきました。私は、砂浜と、水の所で探しました。私は、法一先生の話を聞いている途中に小さいカニを見つけました。なので、ふくろに入れました。他に、シオマネキ、車エビの仲間、テッポウエビ、生まれて数ヶ月のヤドカリ、草の仲間を見つけました。私が生き物を探しているとき、ちょうどさんと、もときさんがウナギみたいな魚をつかまえていました。その魚は、遊びに来ただけだそうです。こころさんとあかりさんと、はるかさんは、ナマコをたくさんっていました。あかりさんは、インタビューで、名前と年齢をきかれたそうです。

集合時間になって、私はバケツを持って、アイスボックスの中にとて生き物を入れました。そして、バスに乗ってカーミージーに行きました。私ははるかさんといっしょに生き物を放しました。はるかさんは生き物を放してから、せまそうなナマコを放していました。はるかさんは、途中で、ナマコにしつこをかけられていきました。

私は西海岸に残っている生き物がとってもかわいそうだなと思いました。でも、今日救われた生き物はとってもラッキーだと思いました。

○ぼくは、初めて西海岸に行って気付いたことは、カーミージーと環境がちがうのと、生き物の種類が多いです。例えば、イボナマコやオカヤドカリとかいっぱいいて、名前はわからなかつたけど、橋を架けると言うことは生き物が少なくなるということで、ぼくたちは、カーミージーに西海岸の生き物を移して、生き物を救うということをやって、生き物は本当に大切なーとわかつて、ぼく達は、バスに乗っているときに、生き物の命をあずかっているんだ、生き物がびっくりしているときに、ぼくは、生き物に本当にすまないなーと思っていました。

そして、カーミージーに着いて、生き物を放してあげて、どんな気持ちではなしたかというと「死なないで、生き残ってという気持ちで放しました。」

そして、みんながさわいでいて、なんだなんだと思ってみると、ウミガメが岸にほうり出されて死んでいました。ぼくは、それを見て、とってもとってもかわいそうで今でも泣きそうになって、ウミガメに言い聞かせました。天国でも、ぼくたちのことをずっと見守っていてください。後、今までの生き物も見守っていてと言い聞かせました。ウミガメが何をしたかったかわからなかつたけど、今はどんな気持ちなのかなーと、今は疑問に

思っていました。今まで、カーミージーに行った時、西海岸の生き物は同じじゃないかなと思ったけど、いっぱいがう生き物が見れてとてもよかったです。

そして、大切な命というものがわかつて、命以外に大切な物はないとぼくは思います。オカヤドカリ、イボナマコ、いろんな生き物に会えて、本当によかったです。海のおそうじやさんもいっぱいいたし、特に、すなじやわんという卵もありました。

○ぼくは、今日、西海岸に住む生き物をカーミージーに移す作業をしました。なぜなら、西海岸がもうすぐ埋め立てられちゃうからです。

そして、3校時に給食を食べて、12時くらいに運動場に行って、バスに乗りました。そして、だいたい10分くらいで、西海岸に着きました。それで、ともよ先生と鹿谷先生の話を聞いて、生き物を救出に行きました。

それで、はじめは、カニを見つけました。そのカニは、とっても小さかったです。そして、次はナマコを見つけました。そのナマコは、ぶつぶつしていました。それに、ちょっとかたかったです。他にも、色々な物を見つけました。そして、ともよ先生が、集合をいったので、前いた場所にもどりました。そして、また、バスに乗ってカーミージーに行きました。

カーミージーに着いたら、少し話をして、西海岸にいた生き物をカーミージーにかえしてやりました。そして、ぼくは、生き残ってほしいなと思いました。そして、またバスに乗って学校に行って、さようならと言って帰りました。

ぼくは、これからも命を救ってあげたいです。

○今日、西海岸に行って生き物救出作戦をしました。ぼくは、生き物を救出するのは、無理だと思ったけど、埋められて死ぬなら、救出してカーミージーににがして生きた方がいいとぼくは思いました。

西海岸に着いたらまず最初に先生のお話を聞きました。先生のお話を聞き終わったら、砂浜の所に行ってヤドカリを探しました。

その次に、友達といっしょにカニ探しました。ぼくがしばらく歩いていくと大きなヤドカリがいたのでつかまえました。そして、たくさんカニやヤドカリをつかまえました。

最後に、砂の中をさぐると、はまぐりが1つありました。そして、西海岸からバスに乗ってカーミージーへ行きました。

カーミージーに着くと生き物をにがして挙げました。ぼくは、がんばって生きろよと言つてにがしてあげました。だけど、まだ西海岸にはたくさんの生き物がいるのでもう一度助けに行きたかったです。

ぼくがカーミージーをずっと歩いていくとナマコがたくさんいました。ぼくは、本当に、こんなにたくさんのナマコやヤドカリを救出できてとってもうれしかったです。

○今日、4, 5, 6校時に、埋め立てされる西海岸の生き物をカーミージーに移す作戦が行われました。

ぼくは、ヤドカリを2ひきとカニを2ひきつかまえて、後からヤドカリを1ひきつかまえました。それから、カーミージーに向かってバスが出発しました。

カーミージーに着いてから、ぼくは、ヤドカリ3ひきとカニ2ひきをそれぞれ分けてはなしました。なぜかカメの死がいも落ちていました。あと、としきさんがつかまえたカニは卵をうんでいて、ところとしたら、はさみではさまれそうになったそうです。

他に、ナマコをかえしていた人がいて、その数が7ひきぐらいでした。あんなにナマコをいっぱいつかまえていてとてもすごかったです。

それから、砂浜の生き物達は、大人の人たちが近くの所に放しに行ってくれました。こんなにたくさんの命が救えてとてもよかったです。それから、命の大切さを沖縄の人に改めて知つてほしいです。

ぼくは、本当は埋め立てないでほしいけど、渋滞がなくならぬと温暖化につながるから仕方ないと思います。ぼく達が見学した所を残してくれるだけありがたいと思います。

○今日、総合で西海岸の生き物をカーミージーに放す「生き物救出作戦」をしました。

最初に、鹿谷先生から、生き物のつかまえかたを習いました。ナマコのつかまえかたやオカヤドカリのつかまえかたも教えてくれました。

そして、「生き物救出作戦」を始めました。最初はナマコを見つけてつかまえたけど、後から生き物が見つかりませんでした。そこで、オカヤドカリを探しましたが、オカヤドカリも見つかりませんでした。でも、お手伝いに来ていた人が、いっしょにオカヤドカリを探すのを手伝ってくれました。そのおかげで、オカヤドカリを見つけることができました。他に、コバンザメがイノーの所に来ているのも見ました。

集合のベルがなって、次にカーミージーでつかまえた生き物を放す作業をしに行きました。ぼくは、生き物がすめそうな所に、ナマコなどを放流しました。そして、「生き物救出作戦」が終わると、「生き物はカーミージーで幸せにくらせるかなあ。」とぼくは少し心配しました。

○私達4年生、143名は、3月11日に、「生き物救出作戦」を行いました。「生き物救出作戦」とは、道路を作るため埋め立てられる、西海岸の生き物を、カーミージーに移し守るという作戦です。

私達は、2週間、生き物のことや、生き物の移し方について、勉強しました。生き物のことについて教えてくれた鹿谷先生は、「私達は、西海岸に住む生き物の命を預かるので、生き物の命を大切にしないといけない。」と教えてくれました。私はこの話を聞いたとき「小さい生き物も大きい生き物も、1匹ずつ大切な命を持っているので、がんばって救出しよう。」と思いました。

西海岸で、生き物を救出しているとき、「こんなにたくさんの生き物がいるのに、埋め立てをしないでほしい。」と思いました。ナマコや貝、ヤドカリ、カニなど、少しでも多くの生き物を救出しようと、みんなで一生懸命がんばりました。

私は、持ってきた容器にたくさんの生き物を入れて、カーミージーに移すことができました。生き物を放しているとき、「カーミージーでも元気に長生きしてね。」と思いながら放しました。

私は、「生き物救出作戦」をやって、生き物の命の大切さを改めて知ることができました。大人の人たちにも、生き物の命の大切さを知ってほしいです。

○今日、生き物の命を救いに行きました。

西海岸の海での生き物は、4年生の人数143人でも、全部の生き物は取れませんでした。私はもっと他の生き物を救おうとしたけど取れませんでした。でもほとんど、取れてカーミージーににがしてあげたので、よかったです。

私は今から2週間前から、この勉強をしています。今ふり返ってみると、市役所の人は道路が大切だと言いました。確かに便利ですが、生き物の命を救いたいです。私は本当に大人だけが決めて確かに私達子どものことは考えてくれませんでしたが、先生達が市役所の人たちと工事をする人の代表をよんで私達子どもの意見を聞いてくれました。私はうれしかったです。自分の意見が言えて、でも結局道路をたてる事になったので、救いに行きました。

それで私はここまで、がんばったなと思いました。

今まで観察会で楽しかったけど、道路のせいで苦しくなりました。でも生き物を運べたのでよかったです。また生き物がこの海になれて、長生きしてほしいです。

○今日、西洲に行きました。

4年生で西洲にいる生き物をカーミージーにひっこしをしてあげました。そしてバスに乗って西洲に出発しました。そして西洲に着いて先生のお話がありました。そして海に入りました。西洲の水はとても気持ちよかったです。そしてぼくは、水の中の生き物をさがしていました。そしたら、いつの間にか、むしかごに魚が入っていました。とてもびっくりしました。でもうれしかったです。

次は、岩のうらにカニがいて、それもつかまえました。その大きさはこのくらいです。

(絵) とても小さくてとてもかわいかったです。そしてナマコもいっぱいいました。ナマコをつかんだら水でっぽうみたいに水が出てきました。としき君はナマコをずっとにぎついていて、ナマコがないぞうを出していました。

そしてとしき君は、カニもつかまえていました。とてもすごいなーと思った。

そして次はまたバスに乗ってカーミージーに行きました。そしてつかまえた生き物を海にかえしてあげました。そしてみんなが集まっているところに行ったら、ウミガメの死が

いがありました。とてもくさかったです。ウミガメはビニールやごみを食べて死んだんだろうと思いました。

そしてカーミージーは西洲より水が冷たかったです。とても気持ちがよかったです。カーミージーでソデカラッパをつかまえました。とてもかっこよかったです。

カーミージーの近くの道のところにお墓があつてふんいきがちがうかったです。とても不気味でした。お墓も、埋め立てる人はのろわれないのかなあと思いました。

命は世界の中でも、お金でも、命はかえられないということを初めて考えてみました。

○私達は、生き物の命は、まだ助かるのに、生き物のいる所を道路にするのは、生き物を殺すと同じだと思いました。

そして、西海岸に着き、生き物をより早く助けようと思い、めいいっぱい助けたのに、まだまだいました。もっと助けたかった。だけどもう時間でした。

カーミージーに着いた時、「ここ、春華たちが行った前のカーミージー。今こんなにきたなくなってるの。」と思いました。ごみがいっぱいあったので、びっくりでした。

また行ければ、もっともっと助けたかった。でも、もう行けないので、助けられません。

小さな命も生きている。魚や小さいナマコ、車エビ、いつも、ふまれふまれもいる貝、大きくて動けないナマコ、石にへばりついている貝、二枚貝、珍しい貝も、みんな道路の作り終わったら、生き物はもう殺されていて、もういなくなる。西海岸に行ったとき、大雅さんたちが「魚の死体。」って言つていてなんかかわいそうでした。

よりもっともっと助けたくても、もう行けません。無事をいのっています。助かるといいな。

○平成21年3月11日水曜日に、港川小学校4年生は、最初に西洲に行きました。西洲で生き物を救出しました。理由は、その西洲を埋め立てするからです。ぼくは、その西洲を埋め立てしてほしくないです。理由は、その西洲にはオカヤドカリや、ムラサキオカヤドカリの好きなアダンの木などがいっぱいあるからです。もったいないと思いました。

「あーあ、かわいそうだなあー。」

西洲で、生き物を救出して、どんな生き物がいたかというと、カニ、ムラサキオカヤドカリ、貝、小魚、ウミケムシなどがいっぱいいました。ぼくは、「いっぱい、生き物がいるなー。」と言いました。

ぼくがつかまえたのは、カニだけです。そのカニはメスで卵をもっていました。つかまえて、数分ぐらいたって箱の中にいるカニを見たら、卵が落ちていました。びっくりして、すぐ海草をいれました。安心しました。

集合の時間になって、またみんなで集合して、バスに乗りました。

次に、カーミージーに行きました。カーミージーに行って、西洲でつかまえた生き物を逃がしました。ぼくは、こう言ってにがしてやりました。「ごめんな、つかまえたけど

カーミージーで、赤ちゃん産んで幸せにな、さようなら。」と言いました。本当にかわいそうでした。

最後に、先生のお話や、鹿谷先生のお話をして、みんなで帰りました。今日はとても救出つかれました。

○今日、西海岸で生き物救出作戦を1時から2時までしました。観光バス3台で西海岸に向かいました。ぼくは、とてもいっぱい西海岸でスナチャwanを見つけました。そうしたら、先生に見せたら。

「こんなに見つけたんだ。」

と言ったので、とても嬉しかったです。けいたろうさんがスナチャwanを
「さわらして。」

と言ったので、さわらしてあげました。そしたらけいたろうさんが
「やわらかいんだね。」

と言いました。ぼくは、けいたろうさんがさわるまでは、「とてもかたいかなあ。」と思っていたのでとてもびっくりしました。

その後、岩場でカニ4ひき見つけてその中の1ひきが一番大きかったので嬉しかったです。カニやスナチャwanを拾ってクーラーボックスに入れてカーミージーに30分かけて向かいました。

カーミージーに着いたらカニやナマコが生きているかがとても心配でした。でも生きていたので心配の心がなくなりました。カーミージーに着いたら先生から話がありました。大事な話と言っていたので、よく聞いておぼえました。スナチャwanは、近く近くににがしてあげました。西海岸にいるときに「スナチャwanがくずれないかな。」と思っていたけどしっかりくずれていなかつたので心が落ちつきました。カニは岩にいたちょっと大きめのは岩ににがして小さいカニは岩場の周りにいたので岩場の周りににがしてあげました。そしたらすぐににげていったので安心しました。逃がした後も感動を言ったりともよ先生や新聞記者の人たちが話をしてくれました。逃がすときに残っているカニたちはかわいそうだけど、救ったカニたちはとても嬉しかったと思います。

○今日、4年生全員で、西洲の所の海から生き物をカーミージーに移すという作業がありました。

ぼく達は、グループで、カニや、ナマコ、ヤドカリなどを見つけました。カニは、黒色うあ白色、大きさもちがって、とっても不思議だなあと思いました。ナマコは、種類によって、2つに分別するということがわかりました。カニが、死んだ魚を食べている姿も見えました。ヤドカリは、貝にかくれている時、息をふきかけると、出てきて、とてもおもしろかったです。とったヤドカリやカニ、ナマコなどは、入れ物に入れて、カーミージーまで、連れて行ってやりました。

カーミージーは、1学期も行ったけれど、今日は、1学期よりも水が多く、魚がいっぱいいました。

ぼくは、カーミージーに、取ったカニとえさになる死んだ魚を、海にいっしょににがしてあげました。にがした生き物たちは、西洲とは、環境がちがうけれど、最後まで、生きていてほしいです。

最後に、みんなで集まって、市役所の人の話を聞いたり、感想を言ったりしました。ぼくも、これから、もっともっと海のことを勉強して、生き物の生命を守りたいです。

○「うんしょこらしょ。あつ、いた！までえー。」

今月から、西洲の埋め立て工事が始まっています。そこで、私達4年生が、少しでも多くの命を助けようと、西洲の生き物をカーミージーに移すことになりました。海には、お家の方々や、市役所の人たち、港川自治会長さん、鹿谷先生方、OTVの人たちがお手伝いをしに来てくれていました。その中には私のお母さんのすがたもありました。

救出する生き物は、エビやナマコ、カニなどです。オカヤドカリやカノコガイも救出します。ザッザッ。地面を掘ると、カノコガイがざつくざつくと出てきました。

「わあお！いっぱい出てくるぞ！」

しばらくして周りを見てみると、みんなしんけんな顔で探しています。私も、「がんばって命を救うぞ！」という気持ちになりました。

ブゥー。ガッタン。

「とう着！」

カーミージーでは、みんな心配そうな顔でした。

「みなさいん、生き物を逃がすときにはやさしくにがしてあげるんですよー。」

いよいよにがすときです。私はカニをにがしに水と砂がまざっている所へ行きました。

「長生きしてね。子どもを元気に産んでね。死なないでね。」

私は砂の中にもぐっていくカニを見ながらそう言い聞かせました。

私は少しでも多くの生き物の命を救えてよかったですなと思いました。生き続けられるかは分からぬけど、がんばってほしいです。あと、西洲にはまだ生き物が残っています。助けられなくて残念でした。私は、命より大切な物は何もないと改めて思いました。

今度、私達にできることはいろんな人に海を体験してもらうことだと思いました。

○3月11日水曜日に、西海岸にいる生き物をとって、カーミージーに放しました。

最初は、ただとっていたけど、とった生き物がだんだん増えていくうちに、「1匹でも多く、長生きしてほしい。」という気持ちにかわっていました。カーミージーに放すときは、ちょっとさみしかったけど、「ここでがんばって生きていってほしい。」と思いました。あと、「西海岸にいる生き物を全員助けたかった。」と思ったところもありました。自分の命はたった一つしかない。じえれど、そのたった一つの命で、他の命を救えるとき

もあります。また、そのたった一つの命でいろんな物に出会えて、いろんな人に助けてもらって、いろんな事を体験できます。その命を私達は助けました。

この体験を通して、「命」という事を改めて考えました。命は、たった一つしかない物。だからこそ、大事にしていきたいです。

○生き物たちの悲鳴

今日、西洲からカーミージーへ生き物の引っ越しを行われました。西洲にいる天然記念物のオカヤドカリやかのこ貝や二枚貝やカニを通し、たくさんの生き物の救出にあたつた。

西洲でオカヤドカリを実際にさわると命の重さが、感じられました。西洲にいるととても悲しくなりました。

大人の都合で、生き物の命が平気で失われていく。それが、子どもたちからすると、とてもつらいことだとわかりました。

私たち4年生は、カーミージーの西海岸（西洲）が埋め立てられることを知り、西洲の生き物がとてもかわいそうでした。たとえ、埋め立てられるとしても、ほんの少しの命を救えば、救った命は、カーミージーで長生きできるという少しの確率を信じ助けに行つた。

西洲はとてもきれいな所でした。「さすが、自然は人工とちがうなあ。」と思いました。

西洲からカーミージーへの救出する作業が始まった。私は、砂浜担当で友だちと一緒にオカヤドカリを中心に救出しました。西洲には、まだ赤ちゃんのムラサキオカヤドカリやオカヤドカリが沢山いました。こんなに小さな命を見捨ててまで、道路を造る意味があるのかなあと思いました。

いつもいつも、子どもの意見は聞かないで、大人の意見だけで何でも進めて行くので、少しでも子どもの意見を聞いてほしいと思いました。西洲にいると、命の重たさや生きることがとても大変なことがよくわかりました。それを学ばせてくれた、西洲の生き物たちありがとうございます。人間は、いつも生き物の命を簡単に死なせて、生き物の声を聞いてあげられなくてごめんなさい。これからは、自然と生き物を大切にしていきたいです。

○今の西洲とカーミージー

3月11日、西洲とカーミージーへ行きました。題名は「命を救おう。生き物救出作戦」という題名で、西洲に行きました。

西洲についたときは、周りを見回すとあまり生き物は見つからず、見たのは砂や海の水でした。ぼくは、岩の生き物を探す係でしたので、ぼくと一緒にさがしたのは、めかるゆうとくんでした、みつきさんといっしょに探しました。岩についていたのが、だいたいカキや二枚貝などの種類でした。そして、岩の下にかくれていたのが、1センチメートルの

カニでした。するとゆうとさんがソデカラッパぐらいの青いハサミをして固かつたほうのはさみしかない大きいカニを見つけて、ゆうとさんが、箱に入れました。

その後、ぼくは岩の下にゴカイを見つけました。最初ぼくは、ウミケムシかなと思って、麻夕先生に聞いてみると、

「これは、ゴカイです。」と教えてくださいました。

そして、岩に海のカタツムリっぽいやどかりがくつついていました。あと20分しかなかつたので、急いで、探していたら、あまり見つからず、智代先生が、

「はい。これから戻りながら、探して見つけてください。」と言いました。探していたら、まったく見つからず、砂浜に小さいヤドカリが歩いていたので、拾ってあげました。

そして、智代先生に聞いてみると、

「これは多分、ナキオカヤドカリだはず。だって目の下に、小さい点が、ついているよ。」

と、本当にそうでしたので、このナキオカヤドカリをオカヤドカリのバケツに入れてあげました。すると、

「ぴー、時間ですよ」

と光代先生が、ベルを鳴らすので戻りました。

カーミージーへ行くと、亀の死体がありました。上半身と下半身にわかれて、目をつむったまま、うつぶせで倒っていました。

するとみんなが、ヤドカリやオカヤドカリなどを岩の下に、にがしていましたので、ぼくもいつしょに逃がしてあげました。もう時間なので、小学校に帰って、感想を書きました。

西洲にはたくさんの生き物がいて、少しでも守ってあげたいのでよかったですなあと思いました。

○命を救え

水曜日の5・6校時に西海岸にいる生き物を、カーミージーに逃がしてあげました。しかたにのりかず先生、しかたに麻夕先生、ほかにもいろんな人が来ていました。

そして、いよいよ始まって私は最初、岩をうらがえしたり、じーっと見てもぜんぜん生き物はいませんでした。そしたらしかたにまゆ先生が、

「ここにいっぱい貝がいますよー。」

つていったので行ってみると100匹ぐらいの貝がいました。だから私は、貝をのりの箱にいっぱいこみました。

でも、とれない貝もいっぱいいました。だから私がとった貝は全部で、30~40匹ぐらいでした。だから、とても残っている貝が、かわいそうだなあと思っていました。そして、ちがう所に行って、生き物をさがすとともに小さな魚がいました。その魚をつかまえようとすると、ぜんぜんつかまえられなかったです。ほかにも、ナマコもいました。水の中も歩いてみると、かにのはさみだけとか魚の死がいとかもありました。とてもかわいそうだなあと思いました。そして、光代先生が、

「もう、カーミージーに行きますよー。歩きながら、生き物をさがして下さい。」
と言ったので、最初に集まったところに行きました。そして、3号車にのりました。そして5分から10分でカーミージーに行って、生き物を逃がしてあげました。なるべく岩の下とか、ごつごつしているところに、貝を置きました。そして、はやく終わったので下を見たりしていると、とてもいっぱい貝やなまこがいました。西海岸よりもいました。だから、貝をふみそうになつたりもしました。あと、とても岩がいっぱいあって転びそうになりました。そしてまた、バスをおりたところで集まって、しかたにまゆせんせいの話、しかたにのりかず先生の話を聞きました。そして、4年生の中から、10名くらい発表しました。そしたらほとんどが、まだ西海岸に残っている生き物がかわいそうといっていました。私もそうおもいました。だって、残っている生き物は、もう死んでしまうかもしれないから、かわいそう。だから、そのかわりに、カーミージーにうつしてあげた生き物が長生きしてくれたらいいなあと思います。

○カーミージー

今日、3月11日水曜日に、カーミージーに生き物をうつすめのために、4年生みんなで西海岸に行きました。

今日は、天然記念物のかのこ貝や、マキガイ、カニ、ナマコを捕まえに行きました。なぜかというと、工事で西海岸が、埋め立てをするからです。そして、西海岸につくと、赤い旗がいっぱい立てられていました。そして、いきものをさがしました。私は、岩をさがすところだったので、同じ岩のあんなさんがいたので

「あんなー、いっしょにやろう。」

と声をかけると

「いいよ」

とあんなさんがいってくれ、一緒にさがしました。そうすると、岩になにかくつついでいたので、わたしは、近くにまゆ先生がいたので、

「まゆ先生。」

よぶと、きてくれて、私は、

「これなんですか。」

と聞くと、

「これはカキの仲間だからとれないねー。」

とまゆ先生が言うと、まゆ先生が、

「このすき間にいる貝はとれるよ」

と言って、手にあったのは、とても小さいマキガイでした。そして、まゆ先生が、

「あの岩にいっぱいあるよ」

と言って、いってみると、赤ちゃんがいっぱいいました。私は、夢中になつていっぱいとりました。ちょっと奥の岩をさがそう行くとぬれてしまいました。私は、とれないのは手を入れてとりました。そして先生が、

「集合」

と言ったのでもどると、まりえさんは、おおきい二枚貝を持っていました。あやねさんもちいさな二枚貝を持っていました。私は二枚貝を持っていないので「いいなあ」と思いました。そして3号車のバスに乗って座るとマキガイが他のマキガイの上に乗って下のマキガイが動いて上のマキガイが落ちていきました。そして、カーミージーについて、みんな道路を渡ると走って行きました。そして生き物をかえします。私は、岩なので、岩にマキガイを置きました。置くのを終わってすなちゃんをみつけてラッキーでした。おもしろかったです。このマキガイ、かに、貝は生き延びてほしいです。

○生き物救出作戦

今日12時30分ごろから埋め立てられるいりじまからいりじまに住んでいる生き物をカーミージーに移す「生き物救出作戦」をしました。

まず、3校時の初めに体育着に着替え、4校時には給食を食べました。そして、12時37分にはバスが出ました。

まず西洲につきました。そして、早速救出作戦が始まりました。ぼくははりきって生き物をさがそうとしました。しかし、全然見つからなくて、ヤドカリがやつといたというくらいでした。その間に友だちは、どんどんカニとかを見つけていっていました。

どのとき、突然、大きいカニがいました。そーと近寄ってつかまえようとしたら、逃げられてしまいました。逃げたところをさがしてみるとまたいました。また、そーと近づいたけど、また逃げられました。そのあと何度もそうしたけど、そのうちにどこかへ行ってしまいました。悔しかったです。3組にいる人は、こぶしくらいの大きさのカニを2匹つかまえていました。すごいなと思いました。ぼくもがんばってヤドカリを3匹位捕まえました。砂浜のほうへ行ってみると、かのこ貝が50匹以上いました。

「そろそろ集合場所に戻ります。戻りながらつかまえてください。」

と合図があったのですぐに戻りました。

最期にカーミージーにつかまえた生き物を放してあげました。

カーミージーでも元気でいてほしいです。今日の救出作戦は楽しかったです。

○カーミージーのこと

今日、5校時と6校時に4年生のみんなで西洲に生き物の命を救いに行きました。

ぼくは最初、埋め立てられる話を聞いて、びっくりしました。ぼくは西洲を埋め立てられるから悲しそうと思いました。生き物の住む場所がどんどんなくなっていくから悲しそうとおもいました。ぼくは、生き物たちが死んでいくから命は、大事だからぼくたちが生き物を助けてあげたいです。

ぼくたちは、今日西海岸に行って海の生き物を観察しました。西洲にはいろいろな生き物がいることがわかりました。西洲の海に行ってでかいカニをみつけておどろきました。そのかにはとっても大きかったです。西洲は、いろいろな生き物がいて、その生き物たちは、みんな死ぬってかわいそうだなあと思いました。

バスでカーミージーまで行って生き物たちをはなしました。ぼくはしょうたろうさんといっしょににがしました。

最後にぼくが生き物に、
「ずっといきとけよ。」
と言いました。

○生き物救出作戦

今日、ぼくたちは生き物救出作戦をしました。始めは西海岸に行って生き物をとりました。ぼくは、水の中の担当でした。しゅんとなつきともときとやりました。かにとかいとやどかりなどをつかまえました。毛ぶかがになどがいました。ぼくはたくさんつかまえました。しゅんは始めになまこを見つけていました。もときはコバンザメとか言っていました。でも、つかまえられたかわかりません。なつきは、かいがらをたくさんつかまえていました。途中でもときはいなくなっていました。ぼくとなつきとしゅんでやりました。その時、しゅんがいっぱいカニをつかまえていました。でも途中で入れ物を落としてしまいました。2回も落としたのでしゅんは、

「はあ。また。」

と言っていました。なつきは、しゅんのお父さんからたくさん貝をもらっていました。3組のこうは大きい魚をつかまえていました。でつかいカニもつかまえていました。めかるゆうともでつかいかにをつかまえていました。つかまえて終わったら大きいクーラーボックスに生き物を入れました。それでカーミージーに移動しました。

カーミージーに着くとカーミージーにはなすときの注意をして生き物をはなしました。ぼくは水中だったので水中に生き物をはなしました。そのときかめの死がいがあったのでびっくりしました。

今日は、OTVの人がきていたのでびっくりしていました。

カーミージーにはなした生き物が生き残れるか心配になりました。でも生き残ると思います。生き残れたら嬉しかったです。

○西海岸の生き物救出のこと

3月11日の4・5校時に西海岸の海の生きもの、砂の中の生き物、岩の下の生き物とかをつかまえてふくろ入れ物に生き物を入れていきました。みんなは、ひっしに生き物を助けたいと思ってつかまえていました。ぼくは、生き物たちを死なしたくないと思ってつかまえていました。みんなはどう思ってつかまえていっているかわかりません。でもみんなはぜつたいに助けたいと思ってつかまえているかと思います。みんなを見ていたら勇気がでてきてもっとつかまえてやるとおもいました。そして、ベルがなって集合場所に行つて、ゆうとと話してゆうとが言いました。

「何の生き物救出した。」

「ん、ナマコとかカニとかいとやどかりとたからがいだよ。」

「ゆうとは」
「おれ、おれはカニ。」
「ゆうと、みせて。」
「いいよ」
「はい。」
「すごくでかいかにだね」
「どこで」
「岩の隙間にいたよ」
「いいな。」
「おれだってそんなでかいカニ見つけたかったよ。」
「んじやカーミージーまで入れ物こうかんね。」
そしてバスに乗ってめかるゆうとが救出したかにをバスの中でじっとみていました。
そしてカーミージーについて号車ごとに4組にならんてゆうとに言いました。
「ゆうと、はい、ありがとう。」
と言ってゆうとは、
「はいこうかん」
と言って入れ物をかえました。カーミージーに着いて号車ごと4組にならんて先生の話を聞き終わって海の中へ入って優しく「元気でね」と思ってかえしていきました。終わったからゆうたちの場所に行って、こう言いました。
「何をしているの」
「ん、ヤドカリをにがしている」
下を見たらヤドカリがいっぱいいました。ふんづけないように、そーっと歩きました。
そして、ゆうたちの手伝いをしました。いっぱい踏んでしまいそうでした。
そしてぼくは西洲西海岸でコバンザメを見つけてもときがしっぽのほうをつかんでいるうちに首のほうをつかんでこう言いました。
「コバンザメとったどー」
と先生に見せに行こうとしたらほかの先生が言いました。
「この生き物にがして」
と言ったのでもときにはバケツをわたしてもときが放り投げました。カーミージーにもどってかえるとき、亀の死がいがいました。かわいそうでした。

○生き物救出作戦

今日、5・6校時にバスの2号車で西海岸に行って「生き物救出作戦」をやりました。ぼくは、岩担当でした。それで、同じ岩のようだうとゆうとといっしょに生き物をさがしました。

最初は、小さいカニとかを見つけてつかまえたりしました。でも途中でトイレしたかつたからトイレに行きました。そしてトイレしてからまた行こうと思っていたけど何かさわいでいたからといってみるとどうたともときが何かの魚をつかまえようとしていました。

そして、何かみてみると「コバンザメ」というサメだったそうです。コバンザメは、深海100mぐらいにすんでいるようです。ぼくは、「西海岸にはそんな生き物も来てすごいなあ。」と思いました。そして、めかるゆうととしようたろうを見つけたら、光代先生が、「みなさん、もう帰りますよ。」

って言ったからもどりました。

バスでしようたろうとしりとりとかして遊びました。そして、カーミージーに着いて、生き物をにがしに行きました。砂場は遠いから大人たちが逃がすみたいで。ぼくは、何もつかまえていないからただ行ったら、ゆきやがビニール袋にいっぱい貝があったからみつきが、

「ゆきや、みつきもやりたい。」

って、言ったら、

「いいよ。手伝って。」

って、言ったからゆきとゆうととやりました。そしたら、鹿谷先生がきて、

「ねえ君たち、やどかりは葉っぱがあるところに逃がってきて。」

って、いうから、

「はい。」

って、言いました。そのバケツにヤドカリがいっぱいいました。しんだ魚もいました。中になんか名前が書かれたヤドカリもいました。1週間ぐらいしてからまた生きているか見るためのようです。無事に終わりました。少し楽しかったです。いい事をしたなあと思いました。

○生き物救出作戦

3月11日に西海岸が埋め立てられるのでそこのいきものをカーミージーにひっこしをさせる作戦を実行しました。その前にいろんな話を聞きました。とり方、生き物の種類などでした。

そして3月11日に作戦が実行する日が来ました。時間がとても少なくて、てきぱき何もかもやりました。給食を食べてすぐにバスに乗りました。まず、西海岸に向かいました。まず、鹿谷先生の注意と説明を聞いて、そしてヤドカリなどを取りに行きました。

最初は、

「どこにいるんだろう。」と思しながらさがすとゆうとさんが、

「あつた。」

と言い、見に行くと少し大きめのヤドカリがいました。「すごい」と思いました。ぼくたちは、その後にインタビューをされました。なんか、以外に緊張しませんでした。でも少し映るかなあと思いました。でもゆうとさんがいろんな人にインタビューされてしまいました。その後も、次々にヤドカリが取れて行きました。

砂をちょっと掘ると、貝などもたくさん出てきました。少し海のほうにいいたけれどもやどかりはいませんでした。でも貝が沢山いました。

そして次にカーミージーに行きました。みんないろいろつかまえていました。かいりさんは、大量のヤドカリが入っていました。「すご。」と思いました。その後カーミージーでヤドカリなどは、逃がしていました。そこには、かめの死がいもいました。たくさん長生きしてほしいです。

○「生き物救出作戦」の感想

3月11日水曜日に西海岸の生き物を救出しに行きました。始めにバスに乗って西海岸まで行きました。そして生き物を救出しました。とくに貝が多かったです。しょうたの話を聞くとサメもいたそうです。ぼくはしょうたの話を聞いて

「はあ。」

と言いました。

そして、カーミージーに行きました。放す前に、ウミガメの死がいがあつたのでぼくはびっくりしました。今日は、OTVの人たちも来ていたのでぼくはびっくりしました。ぼくは放している途中にいきのこれるかなあと心配でした。放すときには、がんばれよと声をかけました。今日の救出作戦は楽しかったです。

○生き物救出作戦

水曜日にカーミージーの下のほうの西海岸のほうに行きました。その前の3・4・5校時にその生き物のおひっこしのことで、3・4校時にしかたに先生のお話を聞きました。どうやって入れるかや、何を入れるかとか聞きました。ビニール袋で砂浜はとうめい、岩はしろ、水の中は白でみどりのシールが付いているものだそうです。

給食時間は鹿谷先生と食べました。私のとなりだったのでいっぱい質問できました。

「かめとかにどっちが好き」

「うーんかめかな。」

「へー」

それでいろんなことを聞いていろんなことがわかって嬉しかったのでまた会えるときに聞いてみたいのです。

いよいよ水曜日になり、学校に行きました。5・6校時の予定でした。私たちは11時20分には給食のじゅんびをした45分くらいに

「いただきます」

と号令をかけました。そのときおなかがいたかったのでご飯を少し減らしました。12時20分になって運動場に行きました。4年生みんなに運動場に集合しました。

運動場には、バスが3台あり、2号車に私は乗りました。今日は生き物の命を救いに西海岸のほうに行きました。西海岸のほうはカーミージーと逆方向で「どんな海かな。」と考えながら向かいました。

西海岸に着くとしかたに先生もOTVも来ていました。いよいよ、生き物をさがしに砂浜へ行きました。1番最初にまいさんが、ナキオカヤドカリを見つけました。本当に小さくて10円玉と同じ大きさくらいでした。そのあとゆみこさんが、

「ここにあなたがいる。」

「どこ」

「ここ」

「しづかにしよう。」

「何かいる」

と言っているうちにどんどんナキオカヤドカリがでてきました。けれどその穴の中のヤドカリはとれませんでした。その後、おかやどかりがぞくぞく出てきて4人で30ひきぐらいたりました。1時間ほど経って、

「そろそろ戻りますよ。」

と合図がでました。たくさんの生き物を捕まえてよかったですと思いました。そこからカーミージーへ行きました。

それからカーミージーの手前で来たらおり、そこから歩きで行きました。

カーミージーに着くと、生き物を放しました。岩ではないけれども、あやねさんの手伝いをしました。そのあいに、亀の死体が見られました。生き物を放していると、インタビューされ緊張しました。それから、

「生き物、大事に育ってね。」と思いながら放しました。生き物が救えてよかったですとおみまた救えたらいいと思いました。

○生き物を救う

3月11日水曜日、私は西洲に行って生き物をカーミージーに引っ越しさせました。私は、西洲に行って、岩にいる生き物をとる担当になりました。岩にいる生き物が少なくて、最初は見つけられなかつたです。だけど、かいを見つけました。岩にくつついでかくれているようでした。あとから、歩いていると水にぬれてしまいました。くつがぬれたので、水に入ってから岩の生き物をさがしました。そしたら、タカラガイを見つけました。タカラガイがくつついでいる岩のそばにナマコがいました。私はあまりナマコが好きじゃないのでタカラガイだけとてあとはどつかにいきました。だけど、岩の生き物はいませんでした。カーミージーに行くとき、私はかいだんで転んでしまいました。だけど生き物は大丈夫でした。ふたをしていてよかったですと思いました。

それで、バスに乗ってカーミージーに行きました。着いたとき亀が死んでいました。とてもかわいそうでした。私は水の中に入つて岩をさがしました。どんな岩がいいのかなと迷っていました。私は生き物をおくとき、がんばつて長く生きてと思いながらおきました。ちょっと歩いていたらナマコがいっぱいいました。しんでいるようになみに流されていました。ちょっと気になりました。ずっと歩いていたら、タカラガイが3～4こぐらいありました。誰かがおいたのかなと思いました。生き物を救出して命とは何かを知りました

た。お金では買えない世界の中でも1番大切なものと知りました。生き物を救出するのは大変だったけど命を救えてうれしかったです。

○カーミージーへのおひっこし

私は3月11日に、西海岸で生き物救出作戦をしました。私は3グループなのでりんさんと岩をやりました。わたしは、りんさんがあんなさんといたので、私はまりえさんと二人でかのこ貝やマキガイや本当にちっぽけなカニを見つけました。

「こんな小さな命を生き埋めにするってよ。」

「ちょーかわいそう。」

「はまぐりだ」

「大きい。2つあるから、まーりーに1つ。」

「ありがとう」

って、言ったら麻夕先生のところで

「かのこ貝がいっぱいだよ。」

「まーいー助けよう。」

「うん。」

2人でピンクやオレンジ、レモンカノコガイだっていました。でも私たちは、岩担当なので、岩の近くまでいったら、岩があって、その間に貝があって近くの人が、棒をくれたのでそれで貝を落としてまりえさんがとて時、鉄先生が

「帰りながらとつていきましょうね。」

と言ったのであせって行って最初の場所で待っていました。

あとからバスでカーミージーに行って、生き物の救出をしにカーミージーに行って生き物を放したとき「仲間のために生きるんだよ」とずっと思いながら放してあげました。

○救出作戦

3月11日水曜日5・6校時に生き物救出作戦がありました。自分は、ちひろさんと一緒に砂をさぎました。でもなかなかみつかなかつたので、麻夕先生に教えてもらいました。すると、どんどん出てきて、とっても嬉しかったです。そして、もうちょっと上のほうに行くと、オカヤドカリがいっぱいいました。いがいがのからに入っているやどかりもいました。

ちひろさんがちがう容器を持っていたので、水の中をさぎました。そしたら、カニがいてちひろさんがつかまえようとしました。でも、そのカニが小さくてなかなかつかめません。やっとつかまえて水の入った容器に入れました。

それからどんどん貝やカニ、ナマコなどつかまえているうちに、時間がたってカーミージーに行く時間になってしまいました。つかまえられなかつた魚や貝、ナマコなどがとてもかわいそうでした。でも、つかまえた生き物たちは、つかまえられなかつた生き物の分まで生きてほしいです。

カーミージーに着いて、早速逃がしたかにや貝は元気そうでした。でも本当は、移すのが嫌でした。「生き物は、そのままの自然がいいのに、どうして西洲に道路を造るんだろう?」と思いました。「カーミージーが橋だったら全部橋にすればいいのに」と思いました。とても生き物がかわいそうでした。でもがんばって生きていきたいです。

○生き物救出大作戦

3月11日に4年生ぼくたちは西海岸の生き物たちを救いに行きました。それは、西海岸を埋め立てされると、生き物がそのまま死ぬとかわいそうなので助けるのです。ぼくは砂にいる生き物をゆうきさんともりひでさんでたすけました。おかやどかりやイソハマグリ、ムラサキオカヤドカリなどをたすけました。オカヤドカリを初めてみて、ぼくは、「これがおかやどかりか」

とびっくりして言いました。しかし、ムラサキオカヤドカリが入っているかいと体に字が書いてあったのでぼくとゆうきさんは、

「なんかかわいそうだな」

と言って、とってもがっかりしました。生き物をさがしている途中に3人はオカヤドカリが沢山出てくる場所を見つけたので、3人はたくさんオカヤドカリを助けられました。ぼくはアダンの実があることにきがついたのでたくさんいたんだなと思いました。その時、時間切れになってしまったのでバスでカーミージーに行くことにしました。生き物をカーミージーに引っ越しして助かるのはうれしいけどまだ西海岸に残っている生き物がいると思うので、ぼくは残っている生き物が助けられなかつたらとっても心がいたむなとぼくは思いました。バスに乗ってカーミージーに行くと西海岸の生き物を引っ越しさせようとしたとき、岩があるところに

「かめの死がいがある。」

と、聞こえたので行ってみると亀のしがいがあるので

「なんでこんなところにあるんだろう。」

と不思議に思って言いました。次はオカヤドカリを引っ越ししました。かたつむりのからに入っているヤドカリもいたり、とてもちいさいヤドカリたちがいたのでこんなヤドカリもいるんだなあと気がつきました。生き物を引っ越しさせた後、最後に感想を聞きました。感想を聞いて生き物の命について感想が多かったなと思いました。カーミージーにひっこした生き物たちは、がんばって生き残ってほしいと思いました。

○生き物救出作戦

ぼくたちは3月15日に、西洲が埋め立てられるので生き物が生き埋めにならないように4年生で西洲の生き物をカーミージーに移すことにしました。それを3月11日の5・6校時にやることにしました。そして、やる時は、本当は4校時がはやく終わってから給食を食べるのを3校時が終わってから食べ、ふつう4校時が終わっている時間に西洲にバスで行きました。

ぼくたちは、砂浜の生き物を救出しました。行く前に西洲の前で先生たちから、

「オカヤドカリはオカヤドカリとかいて箱に入れてください。」

と言われ、そのほかにも

「危険な生き物は大人にまかせてください。」

と言わされました。ぼくは、もりひでさんとゆうとさんとさがしました。いきなりインタビューされました。そのあとゆうとさんがインタビューされて、インタビューの人には

「ヤドカリをてのひらに乗せてみて映したいから。」

と言っていました。そのあとゆうとさんが、ヤドカリを見つけ、ぼくが見つけてまたぼくが見つけました。しばらくするともりひでさんが、連続で見つけました。そのあとバスでカーミージーに行きました。

生き物を逃がすとき、とりそびれてバケツにヤドカリをもったみつきさんがいたので手伝いをしました。最初は30匹はいたけど、だんだんがふえて終わりました。楽しかったです。

○西洲の生き物たちを救出

今日、4年生全員で西洲の生き物たちを救出して、カーミージーにうつして、生きうめにならないように生き物を西洲から探し出してバスでカーミージーに移しに行きました。

それで西洲に学校からバスで来て、着いた時に思ったことは、カーミージー探検隊のときに、カーミージーがごみでいっぱいだったので、「西洲もカーミージーみたいに、ごみだらけなのかな。」と思っていました。でも、西洲は、砂浜に貝やサンゴがいっぱいあって岩のところには、なまこやちっちゃいカニがたくさんいました。だけど、しげみのなかには、ごみがたくさんありました。

そしてオカヤドカリとムラサキオカヤドカリをさがしているときにごみがいっぱいあつた茂みのところに、オカヤドカリとムラサキオカヤドカリがいました。それも大量にいました。なので、オカヤドカリとムラサキオカヤドカリをさっさといっぱいとてみゅさんといっしょにしかたに先生に

「このヤドカリはオカヤドカリですか。それともムラサキオカヤドカリですか。」

と聞きました。そしたら、麻夕先生が、

「これは、全部オカヤドカリです。」

と言いました。その後に、オカヤドカリとムラサキオカヤドカリと二枚貝をさがしました。そしたら、

「集合。」

と先生が言つたので、私が、みゅさんに

「みゅー、集合かかったよ。」

と言いました。

「OK」

と、いったのでみんながいるところに走って行きました。そしてバスに乗って水筒を飲んで、バスが、カーミージーに向かっているときに、バス酔いをしてしまいました。

その後、やっとカーミージーに着いて、みんなで西洲からもってきた生き物たちをかえしてあげました。でも、てきとうに生き物を置いてきたわけじゃなくて、砂浜にいた生き物は砂浜においてあげて、岩にいた生き物は岩にかえしてあげて、水のなかにいた生き物は水の中にかえしてあげました。そしてまた、みんなで集まってこれまでの感想を言って、またバスに乗って学校に帰りました。

でも、私は気分が悪くておなかが痛かったので、どよーんとしていました。

でも、西洲の生き物たちを救出する作戦はとっても楽しかったので良かったです。

○生き物救出作戦

今日、4年生全員、西洲に行きました。さいしょは、海岸ではないところで先生たちが、

「オカヤドカリはオカヤドカリと書かれた箱」

と先生たちが言いました。それでやっと海岸に入って、いっしょに行動したのはなつきとみづきです。最初はナマコです。なまこを4ひきで重かったです。次にカニにはまつたので、ナマコを4匹をにがして、カニをつかまえました。1匹目は普通でした。でも2匹目は、ケブカガニでした。毛におおわれているかにです。3・4匹は小さいカニでした。それでお父さんのところにいったら貝が多かったです。それでぼくも貝を探っていたら、先生が、

「終わりー。」

といったので終わりました。

次にカーミージーに着いて、しかたに先生が放し方を教えて下さったのでやりました。ぼくは、水の中で、かには岩の上において救出作戦は命が大事と知りました。

○生き物救出作戦

3月11日水曜日の5・6校時に西洲に行って、生き物を助けました。

どうして助けたかというと、西洲の全部が埋め立てられるので、生き物を救出しにいきました。私は、生き物をさがしているときに、たくさん歩きました。この歩いたきより全部埋め立てられると思うと、とてもいやな気持になりました。

西洲には天然記念物のオカヤドカリが、たくさんいました。オカヤドカリは、とてもきれいな貝殻をせおっていました。こんな天然記念物のいる海をうめたてるのは、絶対に考えられないと思いました。なんのために、こんな自然がたくさんある海を埋め立ててまで道を作らないといけないのかわかりません。いつも大人の都合でみんな決まっていくので少しばん子どもの意見も聞いてほしいです。道をつくると生き物が生き埋めになってたくさんのいのちが奪われます。どんどん海を埋め立てると自然も生き物もいなくなってしまいます。なので、よく考えて本当にここは道を作つていい所なのかを考えて、道を作つてほしいです。どうせ、キャンプキンザーがかえされるなら、そこに道を作ればいいのに、いちいち海を埋め立ててまで道をつくらなければいいのに。だけど私たちのおかげでカ一

ミージーは埋め立てられなくなりました。私は今、とっても得をしています。なぜかというと、港川小学校の4年生じゃなかつたら今みたいな体験ができなかつたと思うし、こんなにたくさんの自然や生き物にも触れあえなかつたと思います。

なので、港川小学校の4年生でよかったです。

○生き物救出作戦

今日は、西海岸が埋められてしまうので西海岸の生き物たちを助けに行きました。西海岸に着いて、先生のはなしとかしかたに先生のはなしが終わって、海に入って生き物を助けに行きました。私が最初に見つけたのは、岩場にあった貝でした。そして足首までの深さに行くとナマコやカニがいてカニを5匹とナマコが7匹とれて、「こんなにいっぱいのいたら全部とれるか」心配になつたけど、取れる分だけカーミージーに移してあげたいと思いました。かのこ貝が、岩の隅っここのところにいっぱいいて、しかたに麻夕先生がいっぱいとつていたので、私も手伝いました。私はオカヤドカリもさがそうと思ったけど半分くらい取られていて見つけられませんでした。私は袋がいっぱいになつたので他の人にわけて、また探し出したら、ナマコやカニがまだいて、岩を裏返したら貝ややどかりがいっぱいいました。

「まだこんなにいるんだ。」

と思いました。他の人は、箱の中にいっぱいナマコを入れている人もいました。私は、ひめかさんと一緒にさがしていてひめかさんが

「岩の中にカニがいるよ。」

と言つたので見てみると、岩の中に赤ちゃんガニがいたのでとろうとしたけどそれなくして、出るのを待つても出てきません。

「出てこないね。」

「どうする。」

「また、あとでにしよう。」

とほかの生き物をさがしに行きました。その時に、まゆ先生が、

「ねえ、こっち手伝つて。」

と言つたので行ってみると、ナマコが放置されていました。私は、まゆせんせいと一緒にナマコを拾いました。他のところでカノコガイがいっぱいいて、こんなにいっぱいいるとは思いませんでした。

そして、バスに乗つてカーミージーに向かいました。そして、カーミージーに着いて、クーラーボックスにはいっていた生き物たちをカーミージーにうつしました。放したときは、元気に暮らせるか心配でんまり放したくなかったけど、やどかりがうごいているし、西海岸は、埋められちゃうので元気に暮らせるように祈りました。これから、生き物たちが元気に暮らせるよう祈りたいです。

○生き物救出作戦

今日、私たちは給食が終わってから、バックを持って運動場に行きました。最初に先生の話を聞きました。次にバスに乗りました。バスの中で、私はえれなさんと指あそびをしてしりとりもしました。

西海岸についたとき、私は、いろいろな人が来ていたのでびっくりしました。テレビの人も新聞記者も来ていました。私たちは最初、しかたに先生・麻夕先生のお話をよく聞いて、西海岸に入りました。

最初に、私がつかまえたのは、小さいカニでした。はさまれてもいたくなかったです。次にヤドカリをつかまえました。次に私はりょうかさんといっしょにカノコガイをとりました。私は、とてもいっぱいとりました。

「りょうかー、いっぱいとろう。」

「いいよー。」

「しかたに先生の箱に入れるんだよ。」

「じゃあいれよーね。」

「うわー。いっぱいいたまっているね。」

「ちがうところもさがそう。」

「いいよー。」

と話しました。私たちは、岩担当なので岩にくつついでいる生き物をとりました。私たちはゆうとさんたちと会いました。私はゆうとさんに

「とっても大きいね。」

「どこでつかまえた。」

「いわのところで。」

と言ったので、私たちは、でつかいカニをつかまえようと言って、岩のところでカニをさがしました。だけれど結局つかまりませんでした。集合のベルが鳴ったのでさっきの場所に集合しました。次にバスに行きました。バスでは少しえれなさんと話しました。私は、西洲にコバンザメがいたのに気付きました。しょうたさんともときさんが、こばんざめをとっていました。

カーミージーに着いたとき私は、ヤドカリとカニとほかのものを持ってりょうかさんたちと放そうとしたとき、全部のカメラがこっちにきました。私はびっくりしました。インタビューされた人もいました。カメラが来たとき、とってもドキドキしました。全部置いたとき、私は、りょうかさんのがまだ残っていたので、私はりょうかさんに、

「りょうか、それ半分分けてくれる。」

「いいよ。」

と話をしました。いろんな人のお手伝いをしました。集合の合図が出たのでみんな来ました。最後に、しかたに先生・麻夕先生のお話を聞いて、感想を言いたい人がいっていろいろな人にありがとうございましたも言ってバスに乗りました。とっても楽しかったし生き物がいきられてうれしいです。

○生き物救出作戦

3月11日に、埋め立てられる西海岸に行って生き物を取りに行きました。西海岸にはナマコやかにや貝やヤドカリがいました。最初に注意を説明してさがしに行きました。最初に岩をしほさんと一緒にさがしました。岩をひっくり返したら、岩や岩の下にヤドカリがありました。私はしほさんに、

「いるやどかり全部とろう。」

と言って、いるヤドカリ全部とりました。すぐに10匹ぐらいとれました。次に海をさがしました。そしたらナマコがいました。そのナマコを見てしほさんが

「とろう。とろう。」

と言って、しほさんが5匹位のナマコをとりました。そのなまこの中に赤ちゃんのナマコもいました。それもとりました。その次にカニを見つけました。かにも5匹ぐらいとりました。そして、ヤドカリを見つけた時にそのヤドカリをとったら、ヤドカリの中にとつても小さいカニが出てきました。それは、2mmくらいの大きさでした。そのかにをしほさんが持って麻夕先生のところに持つて行ってしほさんが、

「麻夕先生。」

と言ったとき、そのカニが落ちてしまいました。その時麻夕先生が、

「さがしとくね。」

と言ったので、私としほさんでほかのところをさがしました。そして岩のところをひっくり返して出てこないカニもいました。そのカニは、全然出てこないからあきらめました。それでしほさんと私がさがしているとき、

「そろそろ行きます。」

と光代先生が言ったから、私としほさんで行きました。私はその時、あの小さいカニ大丈夫かなあとと思いました。そしてしほさんも、

「あの小さいカニ救出されたらいいね。」

と言っていました。それに岩から出なかつたカニも心配になりました。

そして、西海岸からとつた生き物をカーミージーにうつしました。西海岸にまだ残っている生き物が私はちょっと心配になりました。でも、ちょっとの命が救えたからうれしいです。

○生き物救出作戦

3月11日、5・6校時に西洲に行って生き物を西洲から助けました。私は、岩の生き物をさがしました。

生き物は貝しか見つかりませんでした。そしていっぱい同じ貝を集めました。私とあんなが集めているときに、誰かのお父さんか市役所の誰かが、私たちに、

「この貝何個あるの。」

と聞いてきたので、私とあんなは、

「うーん。わかりません。」

と言いました。そして、どんどん集めていると、校長先生が、

「この貝、100個くらいあるんじゃない。この箱の中にも水を入れたらどう。」と言ったので私たちは貝が入っている箱に水を入れました。そして、先生方が「集合。」

と言ったので、もとの場所に戻りました。そして、その箱を持ってバスに乗りました。バスに乗って3・4分たつと貝が芽を出して動き出していました。それを私とあんなが見てびっくりしました。

そしてカーミージーに着くと、元の場所にあったところに戻しました。戻そうとするとあんなが、

「きもちわるー」

と言いました。なので私が手でやってあんながふたをやりました。そして、全部もどすとカーミージーにいる生き物をかんさつしました。そして、いっぱい観察すると最初に集まつたところに行って、感想をほとんどの人に言ってもらいました。最後には、しかたに先生と市役所の人智代先生の話を聞きました。そして全員の話を聞き終わるとバスに乗つて学校に向かいました。学校に着くと、それぞれの教室に戻つて帰る準備をして、日直が号令をかけてさよならをしました。

私たち4年生全員が西洲からカーミージーに持つて行った生き物が、ちゃんと最後まで生きていてほしいです。とくに赤ちゃんの貝は大人になるまでずっとといきてもらいたいです。私は、今日西洲からカーミージーに生き物を持って来てよかったですと思いました。これからも、生き物を助ける時があったら、次は今助けた生き物よりももっとたくさん助けたいと思いました。今日は、ほんとに生き物を助けられてよかったです。

○生き物救出作戦

3月11日水にカーミージーの近くの西洲に生き物を救出に行きました。西洲に行く前、私は、「どんな生き物がとれるのかな」と思っていました。

バスに乗つて西洲に着くと、先生の話をして砂浜に行きました。最初は、あまり生き物がいなかつたけど、木の下あたりのほうをさがすと、とってもいっぱいのやこうせいのオカヤドカリがいました。私は、

「すごい。こんなにいっぱい。」

と言ってどんどんみつけました。でかきオカヤドカリは5匹位いました。おじさんもオカヤドカリをとるので手伝つたので、じゅうぶん助かりました。

「おじさん、ありがとうございます。」

とお礼をいいました。お礼を言った後も20匹位見つけました。とくに小さいオカヤドカリがいっぱいいました。いっぱいとつたオカヤドカリを見せに麻夕先生のところに行きました。

「麻夕先生、オカヤドカリいっぱい見つけました。やこうせいの。」

と私が麻夕先生に言うと、麻夕先生が、

「やこうせいの。詳しいね。」

と言いました。さつき、西洲について話をするときに先生が、

「できるだけたくさんの生き物を救出して下さいね。」
と言っていたので、生き物をバケツに放すとまた、木の下のオカヤドカリをつかまえました。その時、先生が、

「カーミージーに生き物を持って行って放しますよ。」
と言いました。

いったん、バスに乗ってカーミージーに行きました。カーミージーに着くと、生き物を持って、海の生き物は海に、岩場の生き物は岩場のところに、砂浜の生き物は砂浜に放しました。私が、貝を放すと貝が、

「ありがとう」

って言っているような気がしたので、私は、「いい事をしたなあ。」と思いました。そして、学校に戻ってきて私は、「はあ、つかれたなあ」と思いました。

生き物を救出して、とっても疲れたけど、生き物をできるだけ多く救出できたので良かったです。

○生き物救出作戦

3月11日、西海岸に住んでいる生き物が生き埋めになってしまったので、西海岸からカーミージーに生き物を移す「生き物救出作戦」に取り組みました。

私は、初めて西洲の西海岸を見ました。西海岸の第1印象は、とても大きく、砂浜と海がとてもキレイということです。西海岸を見ると、「はやく生き物を探したい。」という気持ちでいっぱいになりました。

砂浜の上は、とても真っ白で、こんなところにヤドカリがいるんだなと思いました。並んでいるときに、みゆうさんに、

「あの上のほうから探そう。」
と言われたので、

「いいよ。じゃあゆみこも一緒にね。」
と言いました。

いよいよ、救出作戦開始です。砂浜をさっさとほってみると、2枚貝や貝がたくさん出てきました。しばらく砂浜をほっていたら、しげみのほうを探していた大人の人たちが、

「しげみのほうとってもたくさんいるよ。」

と声をかけて来てくれたので、大人たちといっしょにしげみのほうを探してみました。あだんの木の枝を上に上がると、小さいヤドカリや大きいムラサキヤドカリなどが、たくさんいました。ゆいさんが持ってきた大きい容器3杯分ぐらいのヤドカリをみつけました。でも時間がなくて、まだつかまえてない生き物たちもいっぱいいて「もっと助けてあげたかったなあ。」という気持ちもありました。

「もう帰りますよ。」

という声が聞こえたので、自分たちの持ち物を確認してバスの中に入りました。バスの中では、「何つかまえた。」とか、「どれくらいつかまえた」とか「インタビューされた。」とかいろんなことを話し合いました。

話をしているうちに、カーミージーに着くと、宮國せんせいが、

「もう、時間がないからすばやくねー。」

と言っていたので、「急がないと。」と思って急いで集合しました。

しかたに先生と田島先生のお話を聞いてから砂のところ、岩場、水中に分けて、ていねいに生き物たちを1匹1匹大切に放しました。

今日、生き物救出作戦をして、生き物と会えてうれしかったし、命の大切さがとってもわかりました。